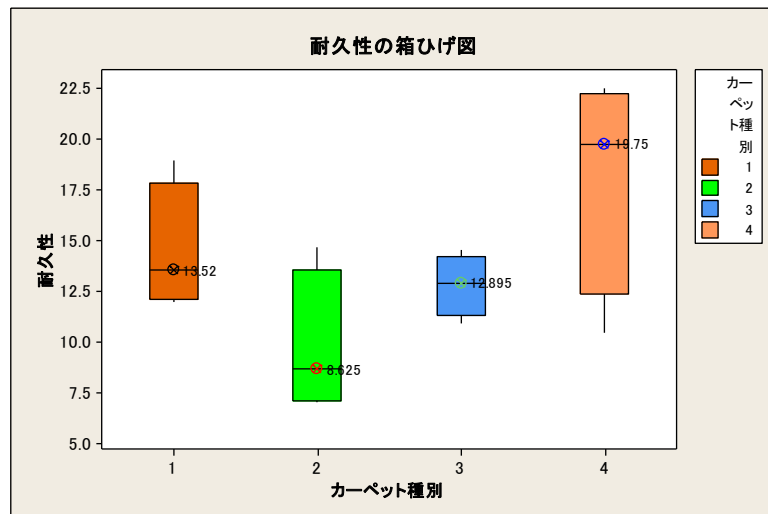


## グループごとの箱ひげ図

ヘルプ > ヘルプ > グラフメニュー > 箱ひげ図 > 例 > 一つのY-グループ

あなたは、カーペットの試作品4つの耐久性を評価しているとします。製品のサンプルを4軒の家庭に預け、60日後に耐久性を測定しました。このとき、各製品の耐久性の分布を調べるために、中央値ラベルと色分けを使用した箱ひげ図を作成したいとします。

1. ワークシート **カーペット.MTW** を開きます。
2. **グラフ > 箱ひげ図** もしくは **統計 > EDA(探索的データ解析) > 箱ひげ図** を選択します。
3. 一つのY の下の **グループ** を選択し、**OK** をクリックします。
4. **グラフ変数** に **耐久性** を入力します。
5. **グループ(カテゴリ)変数** に **カーペット種別** を入力します。
6. **ラベル** をクリックし、**データラベル** タブをクリックします。
7. **ラベル** から、**中央値** を選び、**y-値ラベルを使用する** を選び、**OK** をクリックします。
8. **データ表示** をクリックします。
9. **属性を割り当てるグループ変数** に **カーペット** を入力し、各ダイアログボックスで **OK** をクリックする。



グラウウィンドウの出力

### 結果の解釈

耐久性の中央値は、カーペット4が最も高くなっています(19.75)。ただし、この製品はばらつきが最も大きく、四分位数範囲で9.855です。また、分布も負の方向に偏っており、耐久性の測定値が10に近いものも少なくとも1つは存在します。

カーペット1と3は、耐久性の中央値が近いですが(それぞれ13.52、12.895)。また、カーペット3はばらつきも最小で、四分位数範囲でわずか2.8925です。

カーペット2の耐久性の中央値はわずか8.625です。カーペット2とカーペット1の分布は正の方向に偏っており、四分位数範囲は約5~6です。